



## 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 7 日

会社名 ヴィンキュラム ジャパン株式会社

(JASDAQ・コード番号：3784)

(URL <http://www.vinculum-japan.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 卜部 邦彦

責任者役職・氏名 取締役管理部長 吉田 裕 TEL：(06) 6348-8951

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 ・影響額が僅少なものについて、一部簡便な手続きを採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 連結子会社（新規）1社  
 当社は、平成 18 年 5 月 11 日に社内ベンチャー制度により、株式会社 4U Applications を設立いたしました。

### 2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	9,244	(-)	754	(-)	715	(-)	411	(-)
18 年 3 月期第 3 四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 18 年 3 月期	-		-		-		-	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	13,070	18	-	-
18 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考) 18 年 3 月期	-	-	-	-

(注) 1. 当社は、平成 19 年 3 月期より第 3 四半期連結財務諸表の作成を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後 1 株当り四半期（当期）純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における国内経済は、個人消費の伸びがやや鈍化しつつあるものの、企業収益の改善や需要の増加等を受け設備投資が順調に増加しており、景気は引き続きゆるやかに拡大基調で推移いたしました。

情報サービス業界におきましても、企業収益の改善に後押しされ、競争力強化・差別化のための IT 投資意欲は引き続き旺盛であり堅調な推移となりました。

このような状況の中、当社グループは「事業力の向上」と「管理体制の強化」を両輪とし、バランスのとれた成長・拡大に注力し事業展開を行ってまいりました結果、当第 3 四半期までの業績は、売上高 92 億 44 百万円、経常利益 7 億 15 百万円、第 3 四半期純利益 4 億 11 百万円となり概ね堅調な推移となりました。

なお、当社は、当連結会計年度より連結財務諸表の作成を行っているため、前年同期との比較分析は行っておりません。

(アウトソーシング事業)

アウトソーシング事業の売上高は45億61百万円、営業利益8億9百万円、営業利益率17.7%と堅調な推移となりました。

売上高はITサポート体制の見直し・拡充により、既存顧客向けシステム運用・管理サービス、ASPサービス等順調な推移となりました。また、営業利益は新規顧客向けソフトウェア保守サービスの業務増加等の影響により利益率は若干低下いたしました。概ね堅調な推移となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業の売上高は21億16百万円、営業利益2億92百万円、営業利益率13.8%となり順調な推移となりました。

人事システム分野、クレジットカードビジネス分野においては、システム更新需要とSE不足による追い風を背景に順調な推移となり、また、流通・サービス業務向けビジネス分野においても競争力の強化・差別化のためのIT投資意欲は高く概ね堅調な推移となりました。

(プロダクト事業)

プロダクト事業の売上高は10億17百万円、営業損失36百万円となり、売上高は引き続き順調な推移となったものの、利益面では営業損失となり低調な推移となりました。

当社の主力製品であるオープンPOSパッケージ「ANY-CUBE」、流通業向け商品管理基幹システム「MDware」、CRMパッケージ「Satisfai」は、製品間連携の強化により顧客ニーズを的確にとらえ売上高・受注高は順調な推移となりましたが、営業利益は不採算案件の影響等により厳しい状況下での推移となりました。

(ハードウェア販売サービス事業)

ハードウェア販売サービス事業の売上高は9億54百万円、営業利益48百万円、営業利益率5.1%となり売上高は順調に推移いたしました。また、営業利益は価格競争の激化等により低下しつつあるものの概ね堅調な推移となりました。

(その他事業)

その他事業の売上高は5億95百万円、営業利益1億46百万円、営業利益率24.5%となり順調な推移となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第3四半期	5,467	3,407	62.3	108,054	57
18年3月期第3四半期	—	—	—	—	—
(参考)18年3月期	—	—	—	—	—

(注) 当社は、平成19年3月期より第3四半期連結財務諸表の作成を行っているため、前年同四半期の実績は記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	△84	△383	△173	1,240
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	—	—	—	—

(注) 当社は、平成19年3月期より第3四半期連結財務諸表の作成を行っているため、前年同四半期の実績は記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期における現金及び現金同等物の残高は、12億40百万円となりました。なお、当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

当第3四半期において営業活動の結果減少した資金は、84百万円となりました。主な増加内容は、7億1百万円の税金等調整前四半期純利益の計上、2億94百万円の減価償却費の計上、売掛金の回収による2億19百万円の営業債権の減少等であります。また、主な減少要因は、4億11百万円の法人税等の支払いと4億99百万円の仕入債務の減少等によるものであります。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

当第3四半期において投資活動の結果減少した資金は、3億83百万円となりました。主な減少要因は、パッケージソフトウェア製品及びASPサービスに係るソフトウェア開発等による無形固定資産取得により2億58百万円を支出したことやパソコン、サーバ、通信関連機器等の有形固定資産取得により1億22百万円支出したことによるものであります。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

当第3四半期において財務活動の結果減少した資金は、1億73百万円となりました。主な減少要因は、借入金の返済のために75百万円支出したこと、配当金の支払のために1億3百万円支出したことによるものであります。

○ 添付資料

1. (要約) 四半期連結貸借対照表
2. (要約) 四半期連結損益計算書
3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書
4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
5. セグメント情報

以上

[参 考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回予想 (A)	13,000	985	570
今回修正 (B)	12,100	785	457
増減額 (B-A)	△900	△200	△113
増減率 (%)	△6.9	△20.3	△19.8

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 14,507円94銭

今後の見通しにつきましては、景気は企業収益、雇用状況等の改善により引き続き緩やかながら回復基調で推移するものと考えられます。

情報サービス業界につきましても、価格競争等の厳しさは残るものの、顧客のシステム更新需要は高く順調に推移するものと考えられます。

このような外部環境に牽引され、当社グループは、引合・受注については順調に推移しております。しかしながら、第4四半期に売上計上を予定しておりました流通・サービス業務向け大型案件が次期へずれ込む見込みであり、また、主要顧客向けのサービス撤退費用が想定以上に拡大する見込みであります。

上記の理由により業績予想を修正し、売上高は121億円、経常利益は7億85百万円、当期純利益は4億57百万円となる見通しであります。

※ 業績予想の記載内容のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性を有しております。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性があります。

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	
	金額	構成比
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	1,240,513	
2. 受取手形及び売掛金	2,081,779	
3. たな卸資産	596,276	
4. その他	211,385	
5. 貸倒引当金	△9,318	
流動資産合計	4,120,636	75.4
II 固定資産		
1. 有形固定資産	239,278	
2. 無形固定資産	863,261	
3. 投資その他の資産	244,111	
固定資産合計	1,346,651	24.6
資産合計	5,467,287	100.0
(負債の部)		
I 流動負債		
1. 買掛金	1,163,872	
2. 1年以内返済予定の長期借入金	25,000	
3. 賞与引当金	80,700	
4. その他	657,543	
流動負債合計	1,927,115	35.3
II 固定負債		
1. 役員退職慰労引当金	90,924	
2. その他	41,675	
固定負債合計	132,600	2.4
負債合計	2,059,716	37.7
(純資産の部)		
I 株主資本		
1. 資本金	542,125	
2. 資本剰余金	584,263	
3. 利益剰余金	2,277,101	
株主資本合計	3,403,489	
II 評価・換算差額等		
1. その他有価証券評価差額金	228	
評価・換算差額等合計	228	
III 少数株主持分	3,852	
純資産合計	3,407,571	62.3
負債純資産合計	5,467,287	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科目	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	
	金額	百分比
I 売上高	9,244,890	100.0
II 売上原価	7,367,647	79.7
売上総利益	1,877,242	20.3
III 販売費及び一般管理費	1,122,542	12.1
営業利益	754,699	8.2
IV 営業外収益	17,651	0.1
V 営業外費用	56,646	0.6
経常利益	715,704	7.7
VI 特別損失	14,252	0.1
税金等調整前四半期純利益	701,452	7.6
税金費用	290,889	3.1
少数株主損失	△1,147	△0.0
四半期純利益	411,710	4.5

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成18年3月31日 残高	542,125	584,263	1,999,190	3,125,579	5,040	—	3,130,619
当四半期中の変動額							
剰余金の配当			△103,950	△103,950			△103,950
役員賞与			△29,850	△29,850			△29,850
四半期純利益			411,710	411,710			411,710
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)				—	△4,811	3,852	△958
当四半期中の変動額合計	—	—	277,910	277,910	△4,811	3,852	276,952
平成18年12月31日 残高	542,125	584,263	2,277,101	3,403,489	228	3,852	3,407,571

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)
	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	701,452
減価償却費	294,742
退職未払金の減少額	△38,914
役員退職慰労引当金の増加額	7,019
賞与引当金の減少額	△148,270
貸倒引当金の減少額	△15,620
受取利息及び受取配当金	△461
支払利息	305
固定資産除却損	12,929
減損損失	14,252
売上債権の減少額	219,909
たな卸資産の増加額	△165,739
その他流動資産の増加額	△71,909
仕入債務の減少額	△499,169
その他流動負債の増加額	46,392
役員賞与の支払額	△29,850
小計	327,069
利息及び配当金の受取額	461
利息の支払額	△229
法人税等の支払額	△411,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	△84,115
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△122,537
無形固定資産の取得による支出	△258,905
その他投資等の取得による支出	△3,832
その他投資等の回収による収入	1,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383,383
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△75,000
少数株主からの払込による収入	5,000
配当金の支払額	△103,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△173,950
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の減少額	△641,449
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,881,962
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,240,513

## 5. セグメント情報

### (1) 事業の種類別セグメント情報

当四半期における事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位：千円）

	アウト ソーシング 事業	ソリュー ション 事業	プロダ クト 事業	ハードウ エア販売 サービス 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上 高	4,561,208	2,116,285	1,017,991	954,282	595,122	9,244,890	—	9,244,890
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	700	—	—	—	—	700	(700)	—
計	4,561,908	2,116,285	1,017,991	954,282	595,122	9,245,590	(700)	9,244,890
営業費用	3,752,654	1,823,705	1,054,469	905,585	449,111	7,985,526	504,663	8,490,190
営業利益（又は 営業損失）	809,253	292,580	△36,478	48,697	146,011	1,260,063	(505,363)	754,699

#### (注) 1. 事業区分の方法

事業は、当社グループのユーザーに提供する商品及びサービス等の種類の類似性により区分しております。

#### 2. 各区分に属する主要な商品・サービス等

事業区分	商用商品・サービス等
アウトソーシング事業	システム運用・管理サービス、ソフトウェア保守サービス、ヘルプデスクサービス、ASPサービス等
ソリューション事業	流通・サービス業向け基幹システム、クレジットカードシステム、人事・会計システム、Webシステム等
プロダクト事業	オープンPOSパッケージ、CRMパッケージ、MD基幹システム、システム自動運用パッケージ等
ハードウェア販売サービス事業	ハードウェア販売サービス等
その他事業	電子商談サービス、店舗システム導入展開サービス等

#### 3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（504,663千円）の主なものは、管理部門に係る費用であります。

#### (2) 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

#### (3) 海外売上高

当第3四半期連結会計期間（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。



## 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（個別）

平成19年2月7日

会社名 ヴィンキュラム ジャパン株式会社

(JASDAQ・コード番号：3784)

(URL <http://www.vinculum-japan.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 卜部 邦彦

責任者役職・氏名 取締役管理部長 吉田 裕 TEL：(06) 6348-8951

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
・影響額が僅少なもののについて、一部簡便な手続きを採用しております。

② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

### 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	9,244	(0.6)	766	(1.1)	727	(0.7)	422	(△6.1)
18年3月期第3四半期	9,186	(-)	757	(-)	721	(-)	449	(-)
(参考)18年3月期	12,605		929		873		582	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	13,397	91	-	-
18年3月期第3四半期	15,829	53	-	-
(参考)18年3月期	18,952	00	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を表示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）に記載のとおりであります。

(2) 財政状態の変動状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
19年3月期第3四半期	5,473		3,414		62.4	108,382	30	
18年3月期第3四半期	5,872		2,999		51.1	95,210	19	
(参考)18年3月期	6,436		3,130		48.6	98,437	13	

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における財政状態は、前期末と比較して現金及び預金の減少、売掛金の減少等により資産は9億62百万円減少し54億73百万円となりました。負債は、買掛金、未払金及び未払法人税等12億46百万円減少し20億59百万円となりました。また、純資産は四半期純利益4億22百万円等により2億83百万円増加し34億14百万円となり、自己資本比率は62.4%となりました。

○ 添付資料

1. (要約) 四半期貸借対照表
2. (要約) 四半期損益計算書
3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書
4. 受注及び販売の状況

以 上

[参 考]

平成19年3月期の業績予想 (平成18年4月1日 ～ 平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回予想 (A)	13,000	1,000	585
今回修正 (B)	12,100	800	465
増減額 (B - A)	△900	△200	△120
増減率 (%)	△6.9	△20.0	△20.5
(参考) 前年実績 (平成18年3月期)	12,605	873	582

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 14,761円90銭

今後の見通しにつきましては、平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (連結) に記載のとおりであります。

※ 業績予想の記載内容のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性を有しております。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性があります。

## 1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		増減		(参考) 平成18年3月期
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額
(資産の部)							
I 流動資産							
1. 現金及び預金	1,202,026		2,208,827		△1,006,800		1,881,962
2. 受取手形	72,920		651,968		△579,047		36,416
3. 売掛金	2,007,548		1,253,574		753,974		2,265,272
4. たな卸資産	596,276		427,354		168,921		430,537
5. その他	211,268		145,893		65,375		298,557
6. 貸倒引当金	△9,318		△26,618		17,300		△24,938
流動資産合計	4,080,722	74.6	4,660,999	79.4	△580,277	△12.4	4,887,807
II 固定資産							
1. 有形固定資産	239,278		213,983		25,295		298,656
2. 無形固定資産	864,233		760,663		103,569		976,839
3. 投資その他の資産	289,111		236,885		52,225		272,963
固定資産合計	1,392,623	25.4	1,211,533	20.6	181,089	14.9	1,548,459
資産合計	5,473,345	100.0	5,872,532	100.0	△399,187	△6.8	6,436,267
(負債の部)							
I 流動負債							
1. 支払手形	—		5,068		△5,068		—
2. 買掛金	1,163,872		1,900,941		△737,069		1,725,042
3. 1年以内返済予定の 長期借入金	25,000		100,000		△75,000		100,000
4. 賞与引当金	80,700		81,638		△938		228,970
5. その他	657,130		599,877		57,253		1,088,463
流動負債合計	1,926,702	35.2	2,687,526	45.7	△760,823	△28.3	3,142,475
II 固定負債							
1. 長期借入金	—		25,000		△25,000		—
2. 役員退職慰労引当金	90,924		81,226		9,698		83,904
3. その他	41,675		79,659		△37,983		79,267
固定負債合計	132,600	2.4	185,885	3.2	△53,285	△28.7	163,172
負債合計	2,059,303	37.6	2,873,411	48.9	△814,108	△28.3	3,305,648
(資本の部)							
I 資本金	—		542,125		—		542,125
II 資本剰余金	—		584,263		—		584,263
III 利益剰余金	—		1,866,148		—		1,999,190
IV その他有価証券評価差額金	—		6,584		—		5,040
資本合計	—	—	2,999,121	51.1	—	—	3,130,619
負債・資本合計	—	—	5,872,532	100.0	—	—	6,436,267

科目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		増減		(参考) 平成18年3月期
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額
(純資産の部)							
I 株主資本							
1. 資本金	542,125		—		—		—
2. 資本剰余金	584,263		—		—		—
3. 利益剰余金	2,287,425		—		—		—
株主資本合計	3,413,813	62.4	—	—	—	—	—
II 評価・換算差額等							
その他有価証券 評価差額金	228		—		—		—
評価・換算差額等合計	228	0.0	—	—	—	—	—
純資産合計	3,414,042	62.4	—	—	—	—	—
負債純資産合計	5,473,345	100.0	—	—	—	—	—

## 2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科目	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前年同四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		増減		(参考) 平成18年3月期
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額
I 売上高	9,244,070	100.0	9,186,731	100.0	57,338	0.6	12,605,671
II 売上原価	7,364,925	79.7	7,389,445	80.4	△24,520	△0.3	10,226,286
売上総利益	1,879,144	20.3	1,797,286	19.6	81,858	4.6	2,379,384
III 販売費及び一般管理費	1,113,070	12.0	1,039,742	11.4	73,327	7.1	1,450,074
営業利益	766,074	8.3	757,543	8.2	8,531	1.1	929,309
IV 営業外収益	17,649	0.2	2,256	0.1	15,393	682.2	2,988
V 営業外費用	56,646	0.6	38,065	0.4	18,581	48.8	59,281
経常利益	727,077	7.9	721,734	7.9	5,343	0.7	873,017
VI 特別損失	14,252	0.2	—	—	14,252	—	—
税引前四半期(当期) 純利益	712,825	7.7	721,734	7.9	△8,908	△1.2	873,017
税金費用	290,791	3.1	272,463	3.0	18,327	6.7	290,703
四半期(当期)純利益	422,034	4.6	449,270	4.9	△27,236	△6.1	582,313

3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当第3四半期会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:千円)

項目	株主資本					株主資本 合計	評価・換算 差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金				
平成18年3月31日 残高	542,125	584,263	33,490	1,965,700		3,125,579	5,040	3,130,619
当四半期中の変動額								
剰余金の配当				△103,950		△103,950		△103,950
役員賞与				△29,850		△29,850		△29,850
四半期純利益				422,034		422,034		422,034
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)						—	△4,811	△4,811
当四半期中の変動額合計	—	—		288,234		288,234	△4,811	283,422
平成18年12月31日 残高	542,125	584,263	33,490	2,253,935		3,413,813	228	3,414,042

(注) その他利益剰余金の内訳

項目	別途積立金	繰越利益剰余金	合計
平成18年3月31日 残高	800,000	1,165,700	1,965,700
当四半期中の変動額			
剰余金の配当		△103,950	△103,950
役員賞与		△29,850	△29,850
四半期純利益		422,034	422,034
別途積立金の積立	300,000	△300,000	—
当四半期中の変動額合計	300,000	△11,765	288,234
平成18年12月31日 残高	1,100,000	1,153,935	2,253,935

#### 4. 受注及び販売の状況

##### (1) 受注状況

当第3四半期における事業別の受注状況は次のとおりであります。

(単位：千円、%)

事業別	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)				前年同四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		(参考) 平成18年3月期	
	受注高	前年 同期比	受注残高	前年 同期比	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ソリューション事業	2,166,057	15.6	831,834	24.3	1,873,496	669,118	2,869,987	781,163
プロダクト事業	1,329,358	89.7	734,596	60.6	700,948	457,315	904,216	421,708
ハードウェア販売 サービス事業	805,061	25.9	154,183	△37.8	639,284	247,715	1,353,493	303,403
その他事業	579,694	△67.6	117,877	18.2	1,788,944	99,696	2,005,000	133,306
合 計	4,880,171	△2.4	1,838,491	24.7	5,002,673	1,473,845	7,132,697	1,639,582

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。  
 2. アウトソーシング事業につきましては、受注生産型の事業形態ではないため記載を省略しております。  
 3. 前期までその他事業に含めておりましたハードウェア販売サービス事業は、売上高全体に占める構成比が10%を超えたため、平成19年3月期より別事業として記載しております。

##### (2) 販売状況

当第3四半期における事業別の販売状況は次のとおりであります。

(単位：千円、%)

事業別	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)			前年同四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		(参考) 平成18年3月期	
	売上高	構成比	前年 同期比	売上高	構成比	売上高	構成比
アウトソーシング事業	4,561,908	49.4	10.1	4,142,778	45.1	5,597,429	44.4
ソリューション事業	2,116,285	22.9	△1.9	2,156,505	23.5	3,040,951	24.1
プロダクト事業	1,016,471	11.0	78.9	568,190	6.2	807,064	6.4
ハードウェア販売 サービス事業	954,282	10.3	66.9	571,786	6.2	1,230,307	9.8
その他事業	595,122	6.4	△65.9	1,747,470	19.0	1,929,917	15.3
合 計	9,244,070	100.0	0.6	9,186,731	100.0	12,605,671	100.0

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。  
 2. 前期までその他事業に含めておりましたハードウェア販売サービス事業は、売上高全体に占める構成比が10%を超えたため、平成19年3月期より別事業として記載しております。